



市民の選択 エネルギー・環境戦略

T2

このたびは、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

アンケート調査の過程でご提供いただきました内容は、
個人と回答が一致しない形で統計的に処理し、数値としてまとめますので、
回答内容やお名前が外部に公表されることは一切ありません。

<回答記入に関して>

1. 氏名、住所、電話番号など個人を特定するような情報の記入は必要ありません。
2. ご回答される際に、他の人に聞いたり、資料を読んだりして答える必要はありません。あくまでも、ご自身のお考えでお答えください。
3. ご回答は、アンケート用紙の当てはまる番号に直接マル○をつけてください。
4. 一度お答えになった質問は、戻ることなく、順番通りにご回答ください。

* 事前に資料などをお届けしましたが、討論イベントの参加に先立って、
いま、この時点のご意見やお考えにそって、ご回答ください。

Q1. 政府がエネルギー・環境戦略の選択肢に関してパブリックコメントや意見聴取会で国民の意見を聞いていることを知っていますか。

- 1. 詳しく知っている
- 2. 聞いたことはあり、多少は知っている
- 3. 聞いたことはあるが、ほとんど知らない
- 4. まったく聞いたことがない

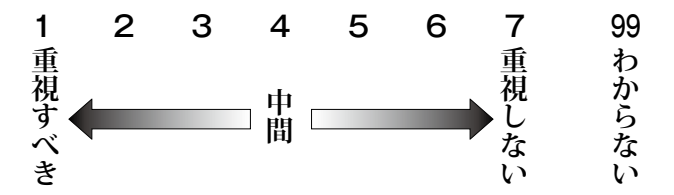
Q2. 政府が今年の夏に決定するとしているエネルギー・環境戦略について、どれくらい関心がありますか。

- 1. 非常に関心がある
- 2. やや関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. まったく関心がない

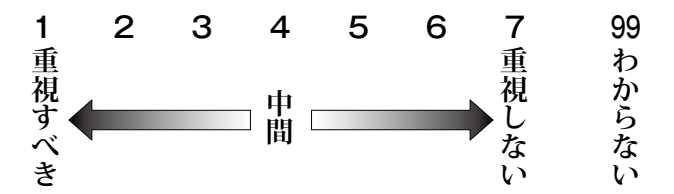
Q3. は省略します

■日本の中長期（2030 年～ 2050 年）エネルギー問題や環境問題について考える際に、以下に挙げる主な視点について、どれくらい重視すべきだと思いますか。あなたのお考えに近い番号にマル○をつけてください。

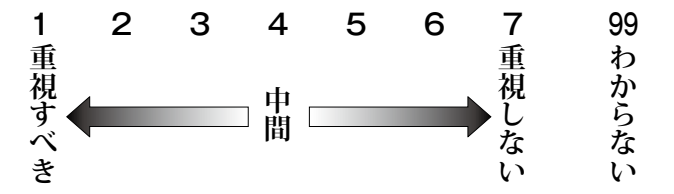
Q4. エネルギーや環境問題を考える際に「安全性」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



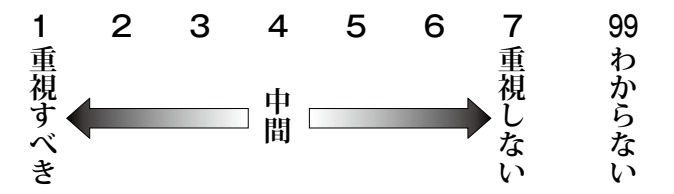
Q5. 「エネルギー安全保障」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



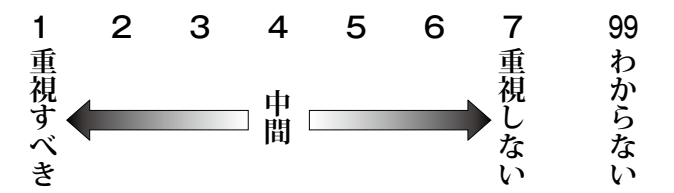
Q6. 「原子力発電などの技術による世界への貢献」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



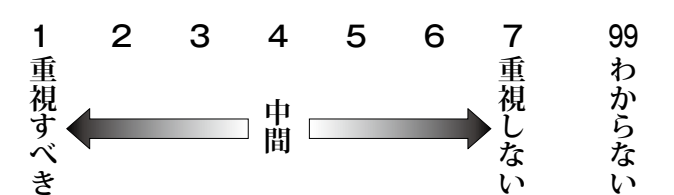
Q7. 「経済性（コスト）」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



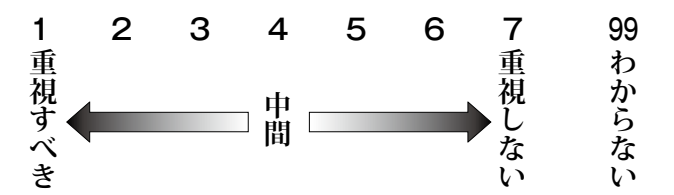
Q8. 「地球温暖化問題への対応」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q9. 「エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q10. 「世代間公平（未来世代への責任）」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q11. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、あなたが一番重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル○をつけてください。

- （ ） 安全性
- （ ） エネルギー安全保障
- （ ） 原子力発電などの技術による世界への貢献
- （ ） 経済性（コスト）
- （ ） 地球温暖化問題への対応
- （ ） エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- （ ） 世代間公平（未来世代への責任）

Q12. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、2番目に重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル○をつけてください。（ただし、Q 11 で答えた回答は除く）

- （ ） 安全性
- （ ） エネルギー安全保障
- （ ） 原子力発電などの技術による世界への貢献
- （ ） 経済性（コスト）
- （ ） 地球温暖化問題への対応
- （ ） エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- （ ） 世代間公平（未来世代への責任）

Q13. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、3番目に重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル○をつけてください。（ただし、Q 11・12 で答えた回答は除く）

- （ ） 安全性
- （ ） エネルギー安全保障
- （ ） 原子力発電などの技術による世界への貢献
- （ ） 経済性（コスト）
- （ ） 地球温暖化問題への対応
- （ ） エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- （ ） 世代間公平（未来世代への責任）

Q14. は省略します

■政府では、原発依存度に関する選択肢、使用済み核燃料の処理方法に関する選択肢、温暖化対策に関する選択肢をそれぞれ検討してきました。以下の設問のうち、あなたのお考えに近い番号にマル○をつけてください。

Q15. 2030 年頃の発電における電源構成のうち、原子力の比率は、どの程度がよいと思いますか。

- 1. 原発比率を早期にゼロとして、2030 年 0%程度を目指す
- 2. 原発は依存度を低減し、2030 年 15%程度を目指す
- 3. 原発への依存度を低減するものの、一定程度維持し、2030 年 20%～ 25%程度を目指す
- 4. 該当なし
- 99. わからない

Q15-1. 日本は、基本的な方向として、いずれ原子力依存から脱すべきか、脱すべきでないかという点では、どのように考えますか。

- 1. 原子力依存から完全に脱していくべき
- 2. 限りなく原子力依存は低くするものの、完全には脱するべきではない
- 3. 原子力はこれからも重要な電源として位置づけ、完全には脱するべきではない
- 4. わからない

Q15-2. 原発比率を可能な限り低減させていく場合は、どれくらいの期間をかけて行うべきだと思いますか。

- 1. ただちにゼロ（再稼働しない）
- 2. 8 年以内（2020 年頃ゼロ）
- 3. 18 年以内（2030 年頃ゼロ）
- 4. 28 年以内（2040 年頃ゼロ）
- 5. 38 年以内（2050 年頃ゼロ）
- 6. 38 年以降（2050 年以降ゼロ）
- 7. ゼロにせず一定維持
- 8. 該当なし

Q16. 使用済み核燃料の処理方法については、どの方法がよいと思いますか。

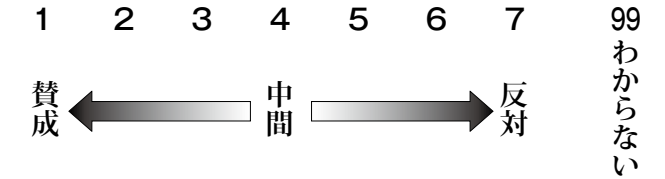
- 1. 一度使った核燃料は、地中に埋めて処分する（直接処分）
- 2. 核燃料として、もう一度再利用する（再処理）
- 3. 直接処分と再処理の組合せ
- 99. わからない

Q17. 国の地球温暖化対策は、どれくらいの強度で進めるべきだと思いますか。

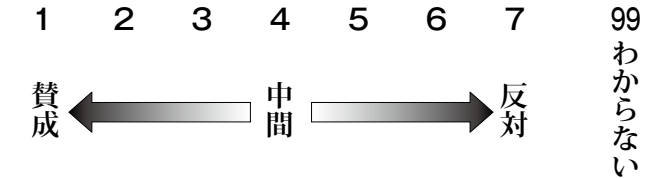
- 1. 高い目標を設定して、達成するための努力を最大限行う
- 2. 可能な範囲で新たな誘導策や義務などを課し努力する
- 3. 現在取り組んでいる対策や想定されるもので進める
- 99. わからない

■エネルギー・環境の選択に関わる個別の問題についてお伺いします。以下の設問のうち、あなたのお考えに近い番号にマル○をつけてください。

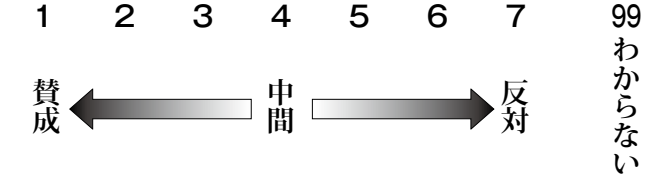
Q18. 安全のための対策・技術を強化したとしても、原発は最悪の事故につながる恐れがあるため、受け入れるべきではないという意見には賛成ですか。



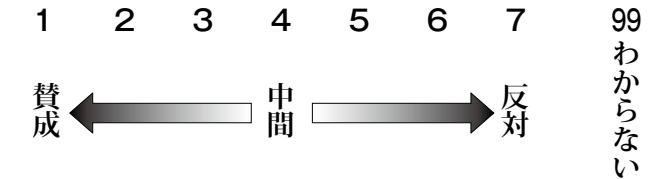
Q19. 安全のための対策・技術を強化し、事故リスクを最小限にとどめることを前提に、原発は利用していくべきという意見には賛成ですか。



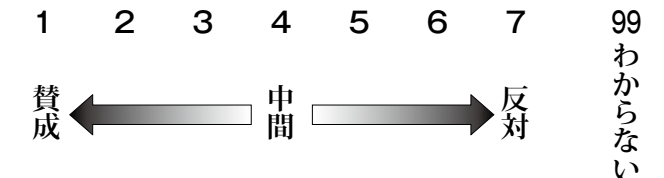
Q20. エネルギーの安定供給は、安全性や経済性、温暖化対策のどれよりも優先すべきという意見には賛成ですか。



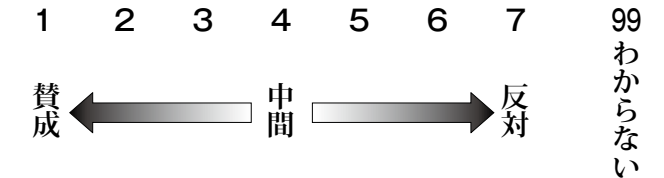
Q21. 中国やアジア諸国で原発の建設が増えていなかで、安全を担う技術や人材を確保していくためには、国内の原発を維持していくべきという意見には賛成ですか。



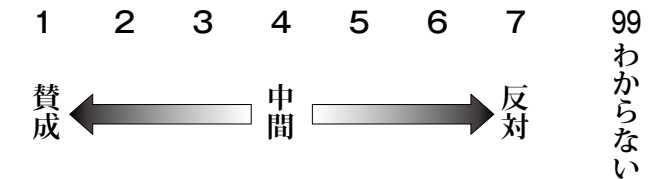
Q22. 再生可能エネルギーの大幅な導入までは、時間がかかるため、一定期間は原発を利用することはやむを得ないという意見には賛成ですか。



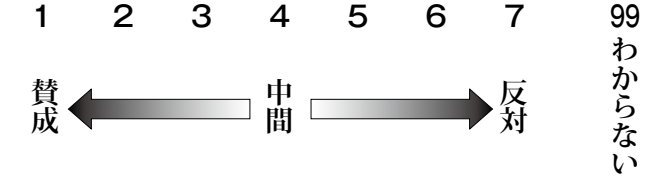
Q23. なるべく早期に原発ゼロを実現するためには、石油などの化石燃料への依存度が一時的に高まってもやむを得ないという意見には賛成ですか。



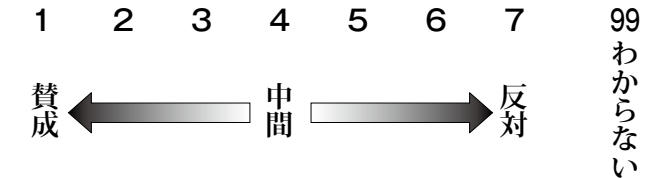
Q24. 再生可能エネルギーの大幅な導入については、将来への投資とみなして、公的な費用負担の対象とすべきという意見には賛成ですか。



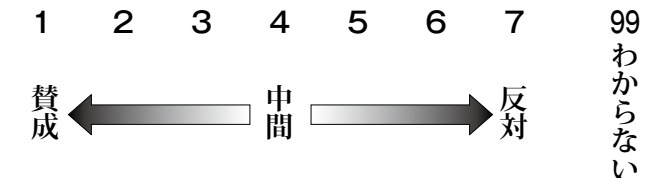
Q25. 再生可能エネルギーの大幅な導入のためには、さしあたって現世代によるコスト負担はやむを得ないという意見には賛成ですか。



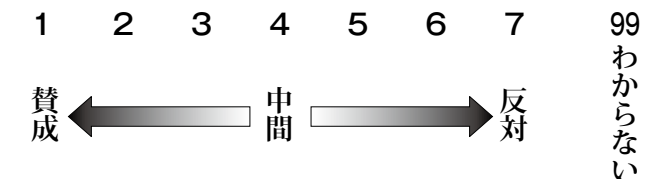
Q26. より早期に原発ゼロにってしまうと、石油などの火力に頼る必要があるため、電気代のコスト高により国内の産業の空洞化が進むという意見には賛成ですか。



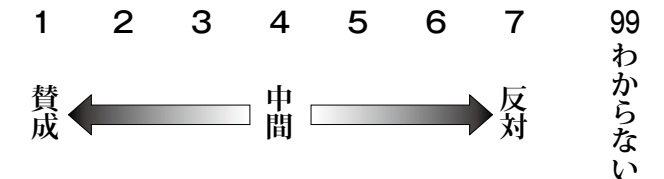
Q27. 経済成長や雇用を守っていくためには、原発を維持していくべきという意見には賛成ですか。



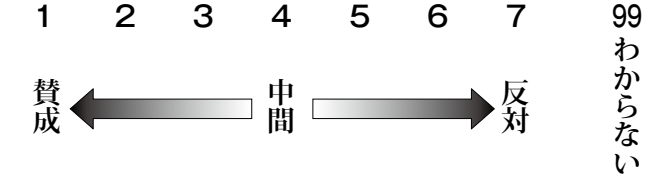
Q28. どんなエネルギーを選択したとしても、温暖化対策を優先すべきという意見には賛成ですか。



Q29. より早期に原発ゼロに近づけていくためには、石油などの火力に頼っていく必要があるため、CO₂の削減の取り組みは、遅れてもやむを得ないという意見には賛成ですか。



Q30. 日本が掲げていた 2020 年温室効果ガス 25 %削減の目標値は、取り下げることやむを得ないという意見には賛成ですか。

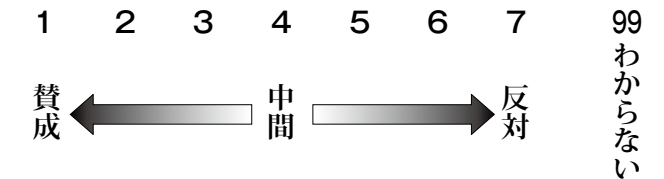


Q31. 原発依存の低減には、再生可能エネルギーの施設整備、優先買取政策の導入、化石燃料の依存度上昇などによるコスト負担が必要という意見があります。では、家庭の電気代が現在よりも〇〇%以上も上がるのであれば、追加的な政策をすべきでないと思う数字は、次のうちどれですか。

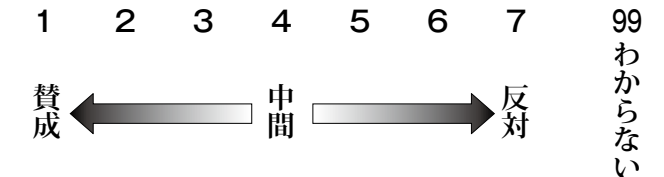
（標準モデル：標準的な 4 人世帯の家庭電気代を 2010 年時点で 1 万円とした場合）

- 1. 40%以上（標準モデル：月額 4,000 円）
- 2. 30%以上（標準モデル：月額 3,000 円）
- 3. 20%以上（標準モデル：月額 2,000 円）
- 4. 追加的な負担は受けたくない
- 99. わからない

Q32. 使用済み核燃料は、核燃料サイクルの実現によりウラン資源の有効活用が可能であるため、引き続き技術開発を続けるべきという意見には賛成ですか。



Q33. 使用済み核燃料は、処分方法が未解決のため、これ以上原発に依存すべきではないという意見には賛成ですか。



Q34. この夏に将来の原発の依存度を決定したとしても、2030 年頃に、世界情勢や国内の経済社会の状況により再度見直していくべきという意見には賛成ですか。

1234567

賛成←中間→反対

99

わからない

Q35. 将来のエネルギー・環境の姿に照らして、あなたが好ましいと考えるシナリオは、政府が公表した次の3つのうちどれですか。

1. ゼロシナリオ

2. 15 シナリオ

3. 20-25 シナリオ

4. 該当なし

99. わからない

Q36. Q35 の回答は、どの程度確信をもって選択できましたか。

1. 大いに確信を持って答えた

2. やや確信を持って答えた

3. あまり確信なし

4. 確信なし

Q37. 以下の設問で内容が正しいと思うものには○、誤りであると思うものには×をつけてください。

- 日本のエネルギー資源の自給率は約 50% 程度である

条件付きながら、日本は 2020 年までに温室効果ガス排出量を 1990 年比で 25 %削減することを国際公約としている

日本のエネルギー供給（最終消費）は、約 4 割が電気の形で行われている

電気は、原子力、火力、水力、太陽光や風力などの自然エネルギーなど様々なものをミックスしてつくっている

3.11 前は、日本の電気の約 3 割は原子力によってつくられていた

火力発電の主な燃料は石油・石炭であり、天然ガス（L N G）は含まれない

今年 7 月、太陽光、風力など再生可能エネルギー源を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取れることを義務づける制度がスタートした

◎質問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。

◎グループ討議の移動時間までお座りになってお待ちください。